

武藤ようじ政治瓦版

関・美濃・羽島・各務原・山県・瑞穂・本巣・岐南・笠松・北方・柳津

2010年
迎春号
vol. 1

■ホームページ <http://www.mutou-youji.jp> ■Eメールアドレス info@mutou-youji.jp

平成22年1月20日発行 発行/岐阜県第三選挙区支部

自民党大会で新しい旗を揚げ、再生に向けたスタートを切ります

今月24日に自民党大会が開かれます。今年の党大会は「開かれた党大会」と位置づけ、全国から集まる党员・党友の方々にご議論してもらおう場にしようと考えています。党大会では自民党が目指していく新しい旗を掲げます。是非とも皆さんのご意見を直接伺い、新しい年とともに党の再生に向けた本格的なスタートを切りたいと思っています。



鳩山政権については、みなさんはどのようにお考えでしょうか? 「政権交代を景気後退や混乱にしてはならない」4ヶ月前の選挙で、私たちが訴えたことです。鳩山不況という言葉さえ聞こえる経済情勢、揺らぎだした日米同盟、天皇陛下の特例会見、毎月1500万円とも言われる鳩山総理の母親からの資金提供や小沢幹事長の不可解な資金管理にまつわる嫌疑など、自民党の再生はまだまだ道半ばですが、一方で私たちの懸念が現実になるのではないかと危惧しています。

振り返れば昨年は、100年に一度といわれる世界的経済危機を受けて1月5日、麻生政権は異例に早く通常国会を開催し景気最優先で予算審議を開始いたしました。それが功を奏し7-9月期には世界的にはまれな経済回復の兆しが見られましたが、政権交代後、意味のない補正予算3兆円の凍結によってさらなる景気後退がささやかれています。18日まで国会を開かない現政権は全く危機感のない証拠です。

政権交代による「事業仕分け」は役所の無駄遣い撲滅に効果があったのでしょうか? 税金の使途を国民に公開したことは評価しますが、強制力をもたず最後は執行部の密室で決められては国民を欺く茶番でしかなかったということです。しかも結果的に少子化対策という「子ども手当て」予算は0.6兆円しかひねり出せませんでした。22年度5兆、23年度から7兆円以上の財源が必要なのに、毎年の恒久的財源の捻出先が全く不明確です。ちなみに文教関係予算(高校無償化を含む)4.2兆円、防衛予算が4.6兆円。国家を支える事柄よりはるかに大きい国家的事業になります

教育にかかる家計支援であれば給食無料化などの施策のほうが、公正中立な支援になりますし、他方、研究開発や投資支援を減額しようとする民主党の成長戦略は将来の我が国の「成長の種」を摘み取ってしまうことになります。

自民党は戦後保守合同以来、飛躍的な経済成長を実現させるとともに安心して暮らせる豊かな国家を築きました。しかし官僚の先例主義に重きを置きすぎた政策や、小泉政権時に行き過ぎた構造改革路線の軌道を修正できず内輪もめをさらけだした醜態やら総裁が代わっても民意に囚われることをせず、長期政権の傲慢さと国民に映り、歴史的敗北の一頁を刻んだことは真摯に反省せねばなりません。

経済の回復が喫緊の課題であり、国民一人ひとりが安心して生活できるためにはまず「雇用」を確保することです。私たちは資金繰り対策とともに、きちんと仕事ができるように守るべきものは守り、改革すべきところは大胆に変えていく新しい国家戦略を打ち上げます。

武藤ようじ政治瓦版

関・美濃・羽島・各務原
山県・瑞穂・本巣
岐南・笠松・北方・柳津

2010年
迎春号
vol.1

平成22年1月20日発行 発行/岐阜県第三選挙区支部

今月の論点「コンクリートから人へ」というがコンクリートがあるから人を守れるのだ

昔は縦割り行政の弊害によって確かに無駄も多く、また度重なる談合事件で何かと悪者扱いされてきた公共事業ですが、今では制度も厳しく精査され、幹線道路は中期計画やB/Cという評価制度のもと必要な道路は整備されています。

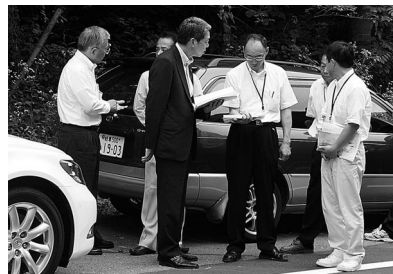
逆に地方の必要な道路や河川補修などは厳しい予算の中で、小出しに消化されながら長年かかって進まれています。

小泉政権時に構造改革を優先するあまり、公共工事の削減を図り、地方の事業は益々先細りしました。先の麻生政権は疲弊した地方経済の即効薬として、21年度補正予算で地方の必要な公共事業促進や街づくりを促進させる臨時交付金を県や市町村に配布しました。地方財政も厳しく十分な効果が得られるものと期待されましたが、民主党政権はこの補正予算を凍結させたばかりでなく、22年度予算で小泉政権時以上に公共事業の削減(21年度当初予算比で18.3%減の5.7兆円)を決定しました。

建設業界は約50万社、その雇用は全就業労働者の約9%、500万人以上の方が関連しています。倒産件数も高い水準で推移しています。

11月の参議院予算委員会で前原国交大臣は「国の財政を考え、少子高齢化を踏まえ公共事業のパイが減る中で20万社維持できれば」との発言もあり、地方の雇用・経済対策をどう考えておられるのか?現状認識に甚だ乖離しているといわざるを得ません。他国との比較でコスト高も指摘されますが狭く平坦な地域が少ない日本の国土では同一基準で比較にならない事情もあります。

昨今異常気象で、ゲリラ豪雨など想定外の災害が起きたり、産業振興対策や命の道、ダム治水など人を守るためにコンクリートはあるのです。必要なものは必要です。どうしても断行するならば見直しの基準を国民に明確にするべきでしょう!



美濃市大矢田トンネル整備について地元佐藤県議と視察。地元の方々や美濃国道事務所から説明を受ける



中越地震での震災後の復旧現場を当時の山古志村村長であった長島忠美衆議院議員に説明を受ける



山梨県富士山麓国道整備について真に必要な公共工事を考える会で視察

次月の論点予定 普天間やグアム移転、インド洋給油撤廃など日米防衛問題

トピックス



21年12月15日 捲土重来を期す落選組同士の会に谷垣総裁を招き、新生自民党のあり方について活発な意見交換をおこなう



21年12月20日 笠松防災会議に当選同期の長島忠美衆議院議員が講師でられました。氏の生の地域を守る言葉にはいつもながら感動させられます



22年1月2日 関市の新年羽物初打ち式に出席、伝統文化継承にご尽力いただく皆さんに敬意を表する



11月4日逝去しました父、武藤嘉文のお別れの会に、沢山の方にご参列賜りました。心から感謝申し上げます。郷土の為、国家国益、国民のため再度公僕として務めさせていただけるよう捲土重来を期すことをお誓い申し上げます

【自民党員加入のお願い!】

党員の方には、これまで総裁選挙の投票資格がありましたが、今後は加えて衆参国政選挙の予備選挙の投票資格も加わります。また研修会ツアーや講演会など企画していきます。

【私の政治姿勢】

- ・自己利益や保身を考えず、公僕として仕えます。
- ・国民の目線で、現場を重視した政治活動を実践します。
- ・国民に信頼される政治へ、説明責任を果たします。
- ・国家国益を守り、明るく健やかな社会形成に全力を尽くします。
- ・民間代表として経済活性化に取り組みます。

武藤ようじプロフィール▶ 昭和30年岐阜生まれ/慶応大商学部卒/富士フィルム在籍後、岐阜で家業に入る。平成4年FM名古屋(非)役員就任/地域活動として岐阜青年会議所、岐阜エトスロータリークラブ2000年会長、経済同友会、岐阜商工会議所など/平成17年44回衆議院選にて自民党公認、初当選。平成21年45回選挙で落選、11月第三選挙区支部長現在に至る▷衆議院在職中は経済産業、法務、災害対策委員会などに在籍。党内では教育、安全保障問題や障害者対策、雇用問題等幅広く力を入れる。